

ジダーノワ アリーナ
Zhdanova Alina 個展

「忘れた点と記憶の線」

11/15 (金) - 11/24 (日)

平日 16:00-21:00

土日祝 14:00-21:00

場所：KYOTO ART HOSTEL kumagusuku

〒604-8805 京都府京都市中京区壬生馬場町37-3

忘却された記憶に新しいイメージを吹き込み、新しい人間をつくりだす。
異なる記憶から語られるその人物像を描いていく、映像インスタレーション。

情報サイト：<https://www.zhdalina.com/news-1>



展覧会関連イベント：

15日（金）

【SARASA BAR】 入場無料、ドリンク別料金

16:00-21:00

Beer, Cocktail, Others

お酒×アートの日。お酒を片手に、人と出会い、作品に触れる。

16日（土）

【短編アニメーション上映会】

19:00-19:40（18:30受付開始）

一般 ¥1,000 / 学生 ¥500

朱芸然、Inari Sirola、南條沙歩、端地美鈴、Zhdanova Alinaによる短編アニメーションを上映。

17日（日）

【ライブペイント&解説パフォーマンス】

16:00-19:30

一般 ¥1,000 / 学生 ¥500

画家である森夕香と、映像作家であるジダーノワが、記憶している実際の人物に聞いた「旅先の人や風景」をテーマにライブペイントを行う。また美術家として活動する山田毅が、森とジダーノワのそれぞれの絵を自身の記憶を元に独自に解釈し、仮説を立てたうえで解説文をその場で作成する。トークでは、鑑賞者も何を感じ、何を考えるのか、自由な解釈を発表する場をつくり、三者の記憶をさらに掘り起こしていく。

22日（金）

【LSAセミナー「忘却における体験と表現」】

18:00-21:00

一般 ¥1,500 / 学生 ¥500

限定20名、予約はこちら→<http://bit.ly/2oNGhtz>

忘却、は誰もが経験することだが、全て忘れることがどんなことか、想像したことがあるだろうか。今回の講演者である原島和仁は、スノーボードの事故で脳に激しい損傷を受け、約1ヶ月意識不明、寝たきりの状態となった。意識が戻った後、脳が混乱状態になり、多くのことを忘れてしまった。氣息奄々の状態で数度の重篤状態となり、家族も絶望したが、壮絶なりハビリによって奇跡的に回復し、ところどころ忘却があるものの記憶も取り戻し、現在は通常の生活を送っている。この驚異的な体験から得た「つながり」について講演。忘却をテーマに作品を制作するアーティスト、ジダーノワの講演、原島と交流のある湊丈俊(京都大学)を含めたトークなどから忘却について考える。

23日（土）

【ポエトリーカフェ】 入場無料、ドリンク別料金

エレナ・トゥタッチコワ主催のポエトリーカフェ第4回。自由に楽しむポエトリーリーディングナイトでは、ジダーノワも参加し、自作の詩を発表。

24日（日）

【ダンスパフォーマンス】

18:30-19:30（18:00受付開始）

一般 ¥1,000 / 学生 ¥500

演出: 西純之介

出演: 田中すみれ、加藤唯、仙波晃典、古藪直樹、他

展示空間をダンサーたちが占領し、形態にとらわれず、特殊なスタイルでパフォーマンスをおこなう。

問い合わせ先：

ask@aszt.info